

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀小川町プロジェクトB新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県横須賀市小川町26-4,26-5の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年5月29日
敷地面積	406㎡	作成者	大東建設株式会社流通設計部一級建築士事務所
建築面積	315㎡	確認日	2023年5月29日
延床面積	2,778㎡	確認者	大東建設株式会社流通設計部一級建築士事務所

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	・特になし	その他 ・特になし
Q1 室内環境	・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、室内の空気質環境に配慮した	Q3 室外環境(敷地内) ・防犯カメラを設置し防犯性に配慮した
LR1 エネルギー	・LED照明を採用し、省エネに努めた ・断熱性能は等級4を満たす仕様とし、断熱性に配慮した	LR3 敷地外環境 ・十分な駐輪場を設け、地域インフラへの負荷抑制に努めた
Q2 サービス性能	・二重天井やCD管を採用し、配線(電気配線、通信配線)の更新性に配慮した	
LR2 資源・マテリアル	・解体廃棄時におけるリサイクルの促進として、空配管・配管配線を採用した	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される